第十三講・説明的文章⑤

◆正確な読み

説明文を正確に読みこなすために、次のことに気をつけるようにしましょう。

(1) 話題をつかむ

何について述べようとしているのかを正しくつかみましょう。説明文は、説明している内容を読む人に分かってもらうために、話題（問題提起）がはっきりと書かれています。

(2) 事実と意見とを読み分ける

説明のための事例や事実の部分なのか、筆者の意見や考えを述べた部分なのかを考えながら読みましょう。

(3) 原因・理由・根拠（こんきょ）をとらえる

ある物事や自分の考えを他人に分かってもらうためには、なぜそうなるのか、なぜそう考えるのかという原因や理由を述べる必要があります。そこで、文章を正確に読みこなすうえでは、「〜から」「〜ので」などの原因・理由を示すことばや、「だから」「なぜなら」などの接続語に注意して、筆者がどんな理由や根拠にもとづいて論（ろん）を進めているかを考えながら読み進めることが大切です。また、これらのことばが使われていなくても、原因・理由→結果・結論の関係になっている場合があります。この場合、自分でこれらのことばをおぎなって、その関係を確かめてみましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「生まれたばかりの赤ん坊は、視力も運動能力も未発達ですが、聴覚だけはほぼ完全に発達しています。母親の胎内にいるときからすでに、胎児は母親の聞いている音を聞いているといわれるほどです。たとえば、母親がテレビを見れば、その音声に、胎児が反応しているといわれます。

　こうしたことを考えれば、①耳からの教育は、生まれたときから行わなくてはならないことがわかります。できるだけ早く、*1インプリンティングを始めなくてはいけません。ところが、ほかの能力が未発達のために、つい、聴覚もそうかと思い無頓着になり、しっかりとした②ことばの教育をしないまま、すごしてしまいがちです。

　こどもにとって、生まれてはじめてのことばは、母親のことばです。もちろん、文字を教えても意味がありません。ただ、ことばを聞かせるだけでよいのです。生まれたらなるべく早く、その日のうちに、母親の声を聞かせるのが望ましいといわれています。」

　母親は、こどもにとってはじめてのことばの先生です。その先生が、もしもことばをきちんと話さなければ、どうなるでしょうか。人間のことばの文化が、世代を超えて伝わらないことになってしまいます。これは、たいへんなことです。

　そして③母親はことばを教えるのに適しています。不思議なことに、古今東西を問わず、女性は男性にくらべてよくしゃべるといわれています。近ごろの説によれば、エストロゲンという女性ホルモンの影響で、女性は男性よりも言語能力がすぐれているのだそうです。つまり、自然の*2摂理によって、こどもを産むことと、赤ん坊にことばを伝えていくことが、結びついているのです。

　耳からことばを覚えていく赤ん坊にとって、先生である母親のことばはとても大切です。こどもにこ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

とばを刷り込(こ)むために、おかあさんは、とにかくたくさんしゃべらなければなりません。こどもは、それを何度も何度も、くりかえし聞いているうちに、やがて、すこしずつことばを覚えていくのです。

④この、はじめのことばのことを、私(わたくし)は、「母乳(ぼにゅう)語(ご)」と呼(よ)んでいます。赤ん坊が母乳だけで、体がどんどん成長していくのと同じように、こどもの内面は、母乳語だけで育っていきます。母乳が体の糧(かて)なら、母乳語はこころの糧というわけです。母親のことばだけで、こどものこころは、どんどん発達していきます。

アメリカでは、生まれたばかりのこどもに話す母親のことばを、「マザーリーズ」といいます。マザーリーズとなることばは、次のような特徴(とくちょう)をそなえているといわれます。

・普通(ふつう)より、すこし高い調子の声で話す
・＊3抑揚(よくよう)を大きくする
・くりかえし言う
・おだやかに、できれば、ほほえみを浮(う)かべて話す

このなかでとくに注目したいのは、「 A 」ということです。というのも、母乳語はインプリンティングのことばだからです。どんなに優秀(ゆうしゅう)な子でも、はじめて聞いたことばを、一度や二度では覚えられません。何度も何度もくりかえし聞いているうちに、自然にことばがわかってくるのです。これが、はじめのことばを習得する基本です。

このため、母乳語では、 B という行為(こうい)が、どうしても必要なのです。

（外山滋比古(とやましげひこ)『わが子に伝える「絶対語感」』）

＊1インプリンティング＝親がやってみせ、子がまねするというのをくりかえすことで覚えていく、動物によく見られる学習形態。
＊2摂理＝この世のいろいろなことを支配している法則。
＊3抑揚＝声やことばの調子を上げたり下げたりすること。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「耳からの教育は、生まれたときから行わなくてはならないことがわかります」とありますが、筆者がこう述べるのは、どのような事実があるからですか。次の□にあてはまることばを文中から十四字で書きぬきなさい。

赤ん坊は生まれたばかりでも□いるという事実

問二　――線②「ことばの教育」とありますが、「ことばの教育」をするとは、どうすることですか。次の□にあてはまることばを本文の『　』で囲まれた部分から八字で書きぬきなさい。

こどもに□こと

問三　――線③「母親はことばを教えるのに適しています」とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　こどもがはじめて耳にすることばは、母親のことばだから。

イ　母親はいつもこどものそばについていることができるから。

ウ　こどもの内面は、母親のことばだけで発達していくから。

エ　女性の言語能力は男性よりもすぐれているから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線④「この、はじめのことばのことを、私は、『母乳語』と呼んでいます」とありますが、筆者は「母乳語」をどういうものだと考えていますか。次の［　］にあてはまることばを文中から七字で書きぬきなさい。

母乳が赤ん坊の体を成長させるように、母乳語は［　］を発達させていく。

［　　　　　　　］

問五　［　］Ａ・Ｂに共通してあてはまることばとして最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　普通より、すこし高い調子の声で話す
イ　抑揚を大きくする
ウ　くりかえし言う
エ　おだやかに、できれば、ほほえみを浮かべて話す

［　］

問六　この文章は大きく三つの意味段落に分かれていています。それぞれどのようなことについて述べていますか。次のうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　こどもがことばを覚えていくうえでの母親のことばの大切さ
イ　はじめのことばを習得するうえでの基本
ウ　生まれたばかりの赤ん坊に母親の声を聞かせることの重要性

第一段落［　］
第二段落［　］
第三段落［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十三講　説明的文章⑤

一題目

問一　聴覚だけはほぼ完全に発達して
問二　ことばを聞かせる
問三　エ
問四　こどものこころ
問五　ウ
問六　〈第一段落〉ウ
〈第二段落〉ア
〈第三段落〉イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。